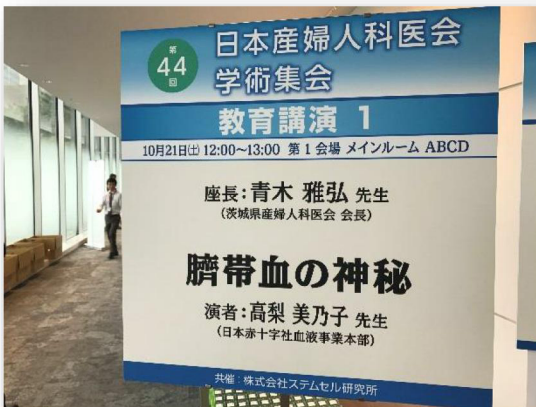


Vol.91

さい帯血情報

第44回日本産婦人科医会学術集会にて 当社共催の教育講演が開催されました



学会名：**第44回日本産婦人科医会学術集会**

日 時：平成29年10月21日（土）・22日（日）

会 場：東京ガーデンテラス紀尾井カンファレンス

会 長：落合 和彦 先生(一般社団法人東京産婦人科医会会長・関東ブロック産婦人科医会会長)

演 題：「臍帯血の神秘」

演 者：高梨 美乃子 先生(日本赤十字社血液事業本部次長)

座 長：青木 雅弘 先生(茨城県産婦人科医会会長)

本講演では、高梨先生より、臍帯血の医療における重要な役割と将来の再生医療の可能性について講演して頂きました。

まず冒頭では、公的臍帯血バンクと民間臍帯血バンクのそれぞれの役割について触れられ、公的バンクの活動の紹介がなされました。

難治性血液疾患に対するドナーソースとして、臍帯血は約1/3を占めており、今や医療に欠かせない資源となっていることや、移植のタイミングを逸せず利用できるといった利便性があることなど、臍帯血の医療現場での普遍的な価値についてご紹介頂きました。

そして、後半は、再生医療分野における可能性として、脳性麻痺に対する民間臍帯血バンク(ステムセル研究所)の細胞を使用した臨床研究(高知大学)や、低酸素性虚血性脳症に対する臍帯血投与(大阪市立大学、他)の臨床研究を紹介する他、脳梗塞や脊髄損傷、老化防止など、臍帯血の新たな可能性についてご紹介頂きました。

臍帯血の将来の可能性を大いに期待させる内容であっただけでなく、それらが産婦人科の先生方の支えによって成り立っていることに謝意を述べられており、今後の医療の発展に大きく寄与する意義深いセミナーとなりました。

※ステムセル研究所は、再生医療等の安全性の確保等に関する法律に則した活動を行っております。

また、保管したさい帯血は、無断で使用されることがないよう、当社倫理委員会が審査した上で適切な施設に出荷されます。